

<p>【技術の名称】 パラレルフレーム構法 ー斜張 PC 鋼材を応用した外付け耐震補強構法ー (改定 3)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第 04-03 号改 3 性能証明発効日：2007 年 9 月 4 日</p> <p>【取得者】 鹿島建設株式会社 株式会社富士ピー・エス</p>
---	---

【技術の概要】

本技術は、斜め方向に緊張した PC 鋼材を結合した新設の鉄筋コンクリート造骨組(以下、パラレルフレームと呼ぶ)を既存鉄筋コンクリート造骨組の外構面に接合し、両者を一体化させる耐震補強構法である。ただし、PC 鋼材を単位骨組ごとに定着した新設骨組は、パラレルユニットフレームと呼び、鉄筋コンクリート造またはプレストレストコンクリート造骨組とする。

本技術は、2004 年 5 月 11 日に、(財)日本建築総合試験所 建築技術性能証明 第 04-03 号として性能証明がなされたものであり、2005 年 5 月 10 日付け、2006 年 9 月 5 日付けおよび 2007 年 9 月 4 日付けの性能証明では、パラレルユニットフレームなどの適用範囲が追加されている。

【技術開発の趣旨】

従来の耐震補強工事は主として屋内において施工されるため、工事中の建物の使用は著しく制限される。本工法は、これらの問題の解消または軽減を意図して開発されたものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者提案のパラレルフレームまたはパラレルユニットフレームと既存骨組からなる耐震補強架構は、それぞれ申込者提出の設計・施工指針で提示している終局耐力および変形性能(耐震診断において用いる靱性指標 F 値)を有すると判断される。

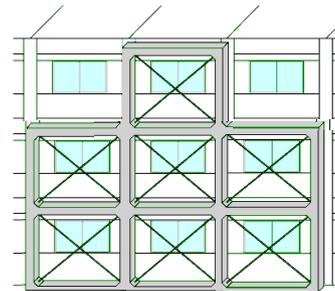


図 1 パラレルユニットフレーム概要
 (連層・連スパンタイプの例)

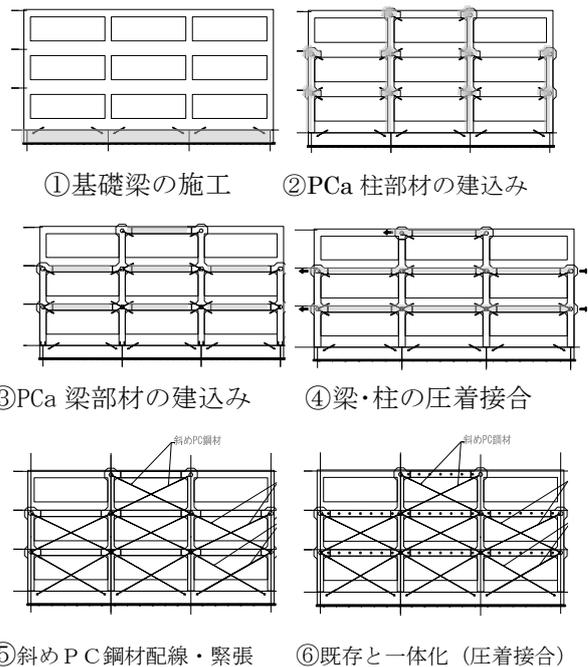


図 2 施工方法例

【本技術の問合せ先】

鹿島建設株式会社 担当者：荒木玄之 E-mail：araki-t@kajima.com
 〒107-8502 東京都港区赤坂 6-5-30 TEL：03-6229-7232 FAX：03-5561-2327
 株式会社富士ピー・エス 担当者：原 憲 E-mail：k.hara@fujips.co.jp
 〒105-0004 東京都港区新橋 4-24-8 TEL：03-3432-6458 FAX：03-5777-2470